

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
11000	X-21-B-3-110005						
授業科目	担当教員						
市民社会論	越智 敏夫	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 専門 × ×	選択 選択 選択 選択 × ×	1年 1年 1年 1年 × ×

授業目的

私たちの社会の成立を「市民」という概念を中心に考える。近代市民革命を経た社会、あるいは民主主義的原理によって構成された社会は、それまでの間が作ってきた社会とは大きく異なる。しかしその誕生は植民地形成と同時進行でもあった。その変動の現在形を<冷戦終焉><9・11><東日本大震災>など多くの状況との関連で議論したい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】1 はじめに

1-1 市民とは誰か

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第2回

【授】2 市民社会を準備するもの

2-1 絶対主義王制

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第3回

【授】2-2 個人の誕生

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第4回

【授】2-3 国民国家の思想

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第5回

【授】3 市民社会の成立

3-1 市民革命

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第6回

【授】3-2 公共性と正当性

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第7回

【授】3-3 民主主義

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第8回

【授】3-4 権力の思想とニヒリズム

【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	20	20	20	20	20		100
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

学期末の筆記試験(持ち込み不可)のみで評価。

なお講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらうが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点後、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。

教科書参考書

教科書なし。参考文献は講義中に適宜指示する。また図書館のサイトの「指定図書リスト」を参照のこと。

受講に当たっての留意事項

本講義の受講によって、それまでの学習の思想的意義を再検討し、他の講義内容がどのように市民社会と思想的に連関しているのかを確認してもらいたい。

学習到達目標

自己の存在も含めて現代のさまざまな問題を思想的に考える「癖」のようなものを身につけてほしい。それは社会を構造として考えることでもあり、市民としての自覚をもつことでもある。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習